

“ネットいじめ”、過去最多を更新

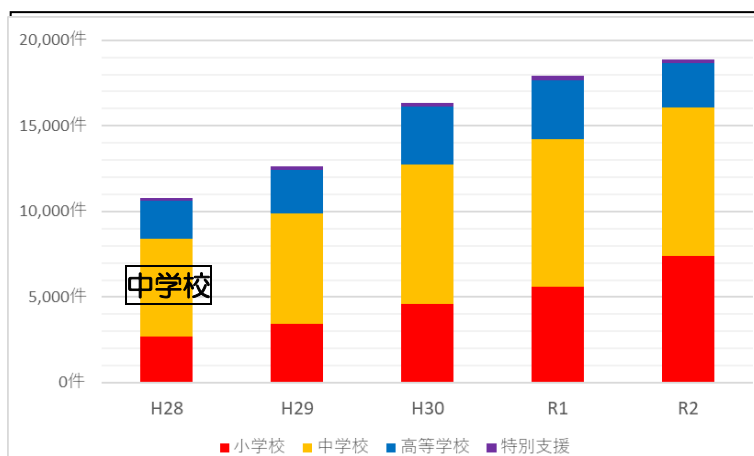
～「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より～

10月に文部科学省が公表した「令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」によると、いじめの態様のうち、パソコンや携帯電話等で、誹謗（ひぼう）・中傷や嫌なことをされる、いわゆる“ネットいじめ”の認知件数は、前年度比946件増の18,870件で、過去最多となりました。

「パソコンや携帯電話等を使ったいじめ」について、学校別の認知件数を見ると、昨年度同様、中学校が8,662件（前年度8,629件）と最も多くなっています。また、小学校では前年度から約1,800件の大幅な増加となっています。

パソコンや携帯電話等を使ったいじめの認知件数

(複数回答可)



(出典：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」)

パソコンや携帯電話等を使ったいじめの学校種別の認知件数とその割合

SNSなどを用いたいじめについては、匿名性が高く、外部から見えにくいいため、周りの大人が気づきにくい傾向もあります。特に保護者の方は、日頃から子どもの言葉に耳を傾け、コミュニケーションをとり、何かあったときに子どもから相談できる雰囲気を作っていくことが大切です。



	H28	H29	H30	R1	R2
小学校	2,679	3,455	4,606	5,608	7,407
中学校	5,723	6,411	8,128	8,629	8,662
高等学校	2,239	2,587	3,387	3,437	2,598
特別支援学校	138	179	213	250	203
合計	10,779	12,632	16,334	17,924	18,870

()内は、学校種別の認知件数に占める割合または認知件数全体に占める割合 (出典：同上)

<参考>・文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

https://www.mext.go.jp/content/20211007-mxt_jidou01-100002753_1.pdf